

平成28年度 文化庁日本語教育研究協議会<1日目>

【13:45~15:30】

政府の外国人に対する施策について

我が国における外国人数は、今後も増加することが予想されています。政府においては、外国人材の活用・受入れ環境の整備など様々な施策を各省庁の下で展開しています。このセッションでは、各省庁が展開している外国人施策を通して日本語教育を見つめ直すとともに、どのような日本語教育人材が求められているのか考えます。

○ファシリテーター 池上 重弘（静岡文化芸術大学）

○登壇者 外務省大臣官房文化交流・海外広報課 山口 敦
文部科学省初等中等教育局国際教育課 齋藤 潔
厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部外国人雇用対策課 田中 浩一
文化庁文化部国語課 小松 圭二

【15:45~17:15】

パネルディスカッション 日本語教育人材の専門性を考える ～求められる資質・知識・能力とは～

日本語教育を実施している団体の採用や研修に関わる担当者に、日本語教育人材にどのような資質・知識・能力がもとめられているのか報告してもらいます。また、各分野で求められる日本語教育人材とその専門性や資質・知識・能力等について議論を行います。

○ファシリテーター：池上 重弘（静岡文化芸術大学）

○パネリスト：古川 嘉子（独立行政法人国際交流基金）
浜田 麻里（京都教育大学）
黒羽 千佳子（公益財団法人国際研修協力機構）

○コメンテーター：伊東 祐郎（東京外国語大学）